



### 1. 第3回ITER理事会開催—ITER機器の調達進む—

11月19-20日にカダラッシュにおいて第3回ITER理事会が開催された。会合に先立ちITER参加極の代表団はITER建設サイトを訪問し、職員数の増加に伴い新たに建設した3階建の仮オフィスビルの竣工を祝った。CEAカダラッシュ研究所敷地内に置かれていたITER機構本部は新しいビルに移設され、2011年の正式な建屋の完成を待つ。またITERサイトの整地作業も75%進んだ。

ITER機構発足から1年が経過し、ITER機構とITER参加極の国内機関との間でITER機器の調達取決めの締結が進んでいる。ITER理事会初日にも、日本が調達するトロイダル磁場(TF)コイル巻線並びにTFコイル構造物を含む合計5件の調達取決め署名式が行われた。

また、ITER機構の担当者および当該機器の調達の責任を負う国内機関の専門家等で構成される「統合製造チーム」を設置し、機器設計の完了、インターフェース統合、調達取決めの実施、製造における企業への指導を行うことが合



整地作業が進むITERサイト\*



ITER参加極の代表団



ITER 理事会風景\*

(\*写真は ITER 機構の提供)

意され、真空容器、ブランケット、電源の三つの機器について、早速作業を開始することとなった。

さらに、ITER でテストブランケット・モジュール (TBM) 計画を実施し、TBM 計画委員会を設置することが決定された。ITER には 6 個の TBM が設置可能であり、日本からは固体増殖水冷却の TBM を持ち込み、実験を行う予定である。計画の実施要領の詳細は今後 TBM 計画委員会で検討される。

今回の ITER 理事会で、現理事会議長のクリス・ルウェリン＝スミス卿、同副議長のエブゲニィ・ベリコフ学士院会員、科学技術諮問委員会議長のプレディマン・カウ博士、同副議長のヤンシ・ワン博士、運営諮問委員会議長のロバート・アイオッティ博士、同副議長のギュンス・リー博士を、2009 年末までの任期として再任した。

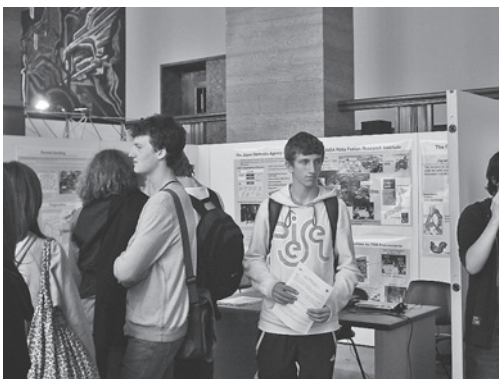
次回 ITER 理事会は 2009 年 6 月 17 - 18 日に日本で開催する予定である。

## 2. 第22回 IAEA 国際核融合エネルギー会議において原子力機構のブースを出展 (JADA の活動紹介)

10月13日より19日までスイスのジュネーブで開催された標記の会議会場にて原子力機構のブースを出展し、日本の ITER 極内機関 (JADA) としての活動を紹介した。これは、ITER 機構の呼びかけで ITER 機構および各極内機関の活動を紹介することを目的としてブースを出展したものであり、ITER 機構、日本の他、欧州、米国、ロシア、韓国、インドの各極内機関が出展した。

原子力機構のブースでは、パネルによる調達機器および那珂核融合研究所の試験施設の説明を行うとともに、遠隔保守手順や本体組立手順のビデオを上映した。期間中、200 名以上の核融合研究者がブースを訪れ、ポスターやビデオを興味深く見るとともに、説明者である原子力機構の研究者との間で活発な議論が交わされ、訪問者の理解が一層深まったと思われる。

(日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門)



第22回 IAEA 国際核融合エネルギー会議に出展した原子力機構のブースの様子